

市長 來住 壽一

うららかな5月

“夏も近づく八十八夜…” 唱歌「茶摘み」の歌い出し。今月1日が八十八夜。一番茶は、極上茶とされ、立春から数えて88日目の摘み取りは、末広りの縁起の良さもあってか、長寿をもたらすとか。待ち遠しく思えた若葉の季節を迎えます。存分に楽しんでください。

今月は、楽しみごとがあります。兵庫県では、なんと282年ぶりとなる歴史的な天文ショーが見られます。21日、九州南部、四国、近畿南部、東海、関東で金環日食が見られます。残念ながら、西脇では、部分日食ですが、淡路島では金環日食（最大食は午前7時25分ごろ）が楽しめます。次の機会となると、県内では2312年ですから、まさに生涯に一度あるかないかの体験。経緯度地球科学館テラドームでも観測会（午前7時から）をしますが、ダイヤモンドリングを見たい方は、淡路、四国に出かけられるのをお勧めします。

また、23日から3日間、東京ビッグサイトで国内有数の企業立地展示会2012が開催されます。ここへ西脇市も出展し、「にしわき上比延工場公園」のPRをしてきます。安価な分譲価格、優遇措置に加え、自然環境の良さ、災害に強い基盤、市民の勤勉性などをアピールしてきたと意気込んでいます。いろいろな所にも情報提供を依頼していますが、皆さんにも有益な情報をお知らせさせていただきますようお願い申し上げます。優良企業の誘致に全力を尽くしてまいります。ご支援のほど…。

先月6日、長谷川穂積選手が、世界タイトルマッチ前哨戦としてメキシコの選手とフェザー級10回戦を戦いました。長谷川選手にとっては、364日ぶりの復帰戦。穂積コールが沸きあがる中、見事7回TKO勝ち。2階級制覇を成し遂げた長谷川選手の新たなチャレンジが始まります。皆さんとともに応援していきましょう。

今月3日は「岡の山まつり」。新緑と山つつじが鮮やかに迎えてくれることでしょう。ぜひ、ご参加ください。

4月に各家庭にお届けした人権教育啓発資料・ゆきちゃんからのメッセージでも紹介していますが、市内の小中学校では「子どもたちが作るお弁当の日」を実施しています。「お弁当の日」とは、子どもたちが自分で食材を買い求め、自分でお弁当を作り、自分で片付けをする活動で、福岡県で助産師をされている内田美智子さんの講演をきっかけに始まったものです。この活動は、食べるこの意味を

心のスケッチ

56

人権教育室「コラム」

子どもたちが作るお弁当から

見直すよい機会となつていきます。子どもたちは自分でお弁当を作るようになり、「家族のありがたさがよくわかった」「最初は上手につくれなかったけど、やっつけていくうちに段取りよくなってきた」「いただきます・ごちそうさま」が自然と言えるようになったなど、言動に前向きな変化が生まれ、自尊心を高めるきっかけにもなっています。一方で、「小中学生の時期

で弁当を作るのは早過ぎるのではないか」「そばで手伝うことが多いので余計に時間がかかる」などの声もあります。しかし、こうした声も念頭におきながら、家庭・学校・地域で「子どもたちの成長において大切なことは何なのか」「お弁当を作る体験が心身ともに『自立』する一つの機会と考えることができるのか」といったさまざまな意見を出し合い、より広い視野で子どもたちの将来について考えることも「お弁当の日」の大切な視点の一つではないでしょうか。改めて「食」を通じて学ぶ大切さを感じました。

消費生活センターから…

強引な光回線の電話勧誘にご注意を

大手電話会社の代理店から「工事費無料・通信速度倍速」「2ヵ月無料で利用できる」など光回線を勧める電話があり、お得だと思いついて契約し、トラブルになる例が増えています。クーリング・オフ対象外です。通信契約は「電気通信事業法」で規制されているため、クーリング・オフは対象外となります。双方の合意があれば口頭でも契約は成立します。また、無料期間内や工事終了後の解約には契約条件により解約料が発生します。一般的に、動画や音楽を頻繁にダウンロードする場合は光回線、ホームページ閲覧やメールしか利用しない場合には、ADSL回線で十分だと言われています。しつこい勧誘はきっぱり断り、契約内容をよく理解したうえで契約しましょう。困ったときには、気軽に相談ください。

◆問合せ 西脇市消費生活センター(生活環境課内) ☎22-3111



▲元気に入学式(日野小学校)

4月6日(金)に新学期がスタートしました。小・中学校では4月9日(月)に入学式が、幼稚園では4月10日(火)に入園式が行われ、幼稚園257名、小学校321名、中学校432名、合計1010名の新入生を迎えました。学校園では、発育測定や遠足、学校園めぐりや部活動紹介など、さまざまな行事が行われました。5月になり、新入生たちは新たな学校園での生活に慣れたころではないでしょうか。元気に遊び、一生懸命学んでくれることを期待します。



▲遠足で日本へそ公園を訪れた児童ら

伝統文化に関する教育や道徳教育、体験活動の充実、理数の力を育み、健やかな体を育てるなど、「生きる力」をより一層育むことを目指した教育を展開していきます。子どもの教育は、学校だけでなくできるものではありません。子どもたちの「生きる力」を育むために、家庭・地域と連携しながら、社会全体で取り組んでいくことが大切です。皆さんのご協力をよろしくお願ひします。

好きです! にしわき! わたしのふるさと

教育委員会や学校園のホットな情報をお知らせします。

今、この時を輝いて生きる 次世代につなぐ、心豊かな人づくり、まちづくり

中学校で新学習指導要領を実施

学校園で新学期が始まりました。新しい学習指導要領が昨年度から小学校で、今年度から中学校で全面実施されます。新学習指導要領に基づき、市教育委員会では家庭・地域の皆さんと協力し子どもたちの「生きる力」を育む教育を展開していきます。

あぐりコラム 46

農業には魅力がいっぱい



西脇市では、今、農業振興を主要施策の柱の1つに位置づけ、さまざまな事業を推進しています。このコラムでは、農業に関係するいろいろな情報をお知らせします。

お米・ご飯の魅力

私たち日本人にとって欠かせないお米。最近では、さまざまな食べ物が私たちの周りにあふれ、お米・ごはんの重要性を忘れがちになっているのではないのでしょうか。昔の日本人の食生活はごはんを中心に、魚・野菜・大豆などの伝統的な食材と肉・牛乳・果物などを組み合わせた栄養バランスのとれたものでした。しかし、近年では「食の欧米化」が進み、脂質のとりすぎなどで栄養バランスが乱れ、メタボリックシンドロームや糖尿病などの生活習慣病の患者数が増加しています。また、朝食を食べない子どもが多く見受けられるなど、子どもの食の乱れも問題となっています。健康的な成長にはバランスのとれた食事を身に付けることが

必要です。学校給食でも栄養バランスのとりにくいごはん給食は大切であり、肥満や生活習慣病を防ぐとともに、地元のお米や農産物を使用した給食を実施することで、地域の農業に対する理解や食に対する正しい理解を深めることにも役立ちます。一方で、お米の育つ水田は水や空気をきれいにしたり、雨水をためて洪水を防いだり、生き物のすみかとしても重要な役割を果たします。子どもたちが田植えや稲刈りを経験し、農業・食について学ぶ場所にもなります。このように、お米・ごはんは私たちの生活にとって欠かせないものなのです。今一度お米・ごはんの大切さを見直してみませんか。